

ディプロマ ポリシー	<p>専ら以上で所定の単位を修得し、授業および卒業研究を通じて、下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して卒業を認定し、学士（知的財産学）の学位を授与する。なお、特に優秀な成績を修めた者は、3年間で卒業し、知的財産専門職大学院に進学することができる。</p> <p>(1) 人文・社会科学、自然科学を含め、知的財産の創造、保護および活用を行う上で必要な幅広い教養を身に付けられることができる。【基礎学力、教養】</p> <p>(2) 知的財産法体系に基づいて理解し、その精神を知的財産の創造、保護、活用のために応用することができる。【知的財産法の体系的理解力、法的思考力】</p> <p>(3) 知的財産の創造、保護および活用のための必要な技術、意匠、ブランド、コンテンツまたはビジネスに関する知識、ならびに知的財産を創設社会で活用するための実践的能力を身に付けそれを実践できる。【技術、意匠、ブランド、コンテンツ、ビジネスに関する理解と実践力】</p> <p>(4) 知的財産の創造で生起する課題を自ら発見でき、その解決のための調査、検討を行うことができる。【問題解決力】</p> <p>(5) 知的財産のグローバルな創造、保護および活用を行うための、英語力と国際性を身に付け活動できる。【国際性】</p> <p>●【注】：【1】はディプロマ・アワードメトリクスシステムにおける学部および学科のディプロマ・ポリシー達成項目を示す。</p>														
	分野別 到達目標	学び方と学びの基本となる能力を身に付ける。	グローバル社会で使える英語力を身に付ける。	知的財産の創造、保護、活用に必要な幅広い教養を身に付ける。	知的財産法を学ぶ上で基礎となる基本的な法律の基礎的理解を深める。	知的財産創造の基本となる主要な知的財産法の基礎的理解を深める。	ビジネスにおいて知的財産を活用するための基本的な知識や手法の理解を深める。	知的財産に関わる必要に合わせた知識の理解を深める。	知的財産に関する専門的力を身に付け、自分の研究をまとめあげる。	知的財産の実務に使える英語力を身に付ける。	これからの自己人生設計を考えたときに国際性を身に付ける。	英語の基礎力を定着させ、知的財産に関する知識を総合的に整理する。	卒業に必要な単位数 124単位		
専ら専攻の科目	10単位	11単位	34単位	13単位	17単位	54単位	13単位	7単位	7単位	54単位	10単位	52単位			
1 前期												47単位			
1 後期												56単位			
2 前期												48単位			
2 後期												91単位			
3 前期												43単位			
3 後期												25単位			
1 前期												60単位			
1 後期												35単位			
分野	専ら領域	教養領域 英語科目	教養領域 一般科目	専門領域 基礎科目	専門領域 知的財産法科目	専門領域 技術&専門科目	専門領域 探究科目	専門領域 研究科目	知識領域 英語科目	知識領域 研究科目	その他履修領域	年間専上級単位数 44単位			
カリキュラム ポリシー	<p>ディプロマ・ポリシーの達成に必要な単位を修得するための、1科目ごとの到達目標を以下の通り定める。</p> <p>(1) 専ら領域および教養領域、基礎領域、発展領域における諸科目を通じて、知的財産に関わる専門職人から求められる幅広い教養と社会人基礎力を身に付ける。</p> <p>(2) 専門領域の基礎科目と知的財産法科目および技術&専門科目を通じて、知的財産法を体系的に理解し、その精神を知的財産の創造、保護、活用のために応用する能力を身に付ける。</p> <p>(3) 専門領域の基礎科目、技術&専門科目、探究科目および研究科目を通じて、知的財産の創造、保護および活用のために必要な技術、意匠、ブランド、コンテンツまたはビジネスに関する知識、ならびにデータ・ライセンシスをもとに経済社会の現状を捉える手法を修得することで知的財産を創設社会で活用するための実践的能力を身に付ける。</p> <p>(4) 専門領域の探究科目と研究科目を通じて、知的財産関連分野において生起する課題を自ら発見し、その解決のための調査、検討を行う能力を身に付ける。</p> <p>(5) 専ら領域および知識領域の探究科目、専門領域の探究科目、知識領域の研究科目を通じて、知的財産を創設社会で活用するための実践的能力を身に付ける。</p>														
アドミッション ポリシー	<p>知的財産学部の知的財産学修士、知的財産の創造・保護・活用といった知的財産創造サイクルの各段階において、大きな役割を果たすことができる総合的・専門的人材を養成します。このために知的財産に関する関心と意欲を強く持って真摯に学習に臨み、意欲的に自己を成長させる人材を求めます。</p> <p>(求める人物像)</p> <p>(1) 知的財産に関する専門能力を有する専門家としての認識をもちます</p> <p>(2) 知的財産に関する専門資格を有し、知的財産の創造・保護・活用への貢献ができる人材を求めます</p> <p>(3) 企業等において知的財産を理解する人材として幅広く活躍できることをめざします</p>														

ディプロマポリシー		<p>年以上志学して所定の単位を修得し、授業および卒業研究を通じて、下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して卒業を認定し、学士（知的財産学）の学位を授与する。なお、特に優秀な成績を修めた者は、3年間で卒業し、知的財産専門職大学院に進学することができる。</p> <p>1) 人文・社会科学、自然科学を含め、知的財産の創造、保護および活用を行う上で必要となる幅広い教養を身に付けられることである。【基礎学力・教養】</p> <p>2) 知的財産法を体系的に理解し、その機能を知的財産の創造、保護、活用のために応用することができる。【知的財産法の体系的な理解力、法的思考力】</p> <p>3) 知的財産の創造、保護および活用のための必要技術、意匠、ブランド、コンテナツまたはビジネスに関する知識、ならびに知識を創発する能力を身に付けられることである。【技術、意匠、ブランド、コンテナツ、ビジネスに関する理解と実践力】</p> <p>4) 知的財産権侵害等が発生する課題を自ら発見でき、その解決のための調査、検討を行うことができる。【問題解決力】</p> <p>5) 知的財産のグローバルな創造、保護および活用を行うための、英語力と国際性を身に付け活動できる。【国際性】</p> <p>●注：【1】はディプロマ・サブメントシステムにおける学部および学位のディプロマ・ポリシー達成項目を明示</p>													
分野別到達目標		学びと学びの基本となる能力を身に付ける。	グローバル社会で使える英語力を身に付ける。	知的財産の創造、保護、活用に必要な幅広い教養を身に付ける。	知的財産法を学ぶ上で基礎となる基本的な法律の基礎的理解を深める。	知的財産権の基本的な主要な知的財産法の基礎的理解を深める。	ビジネスにおいて知的財産を活用するための基本的な知識や手法の理解を深める。	知的財産に関わるための必要な知識の理解を深める。	知的財産に関する専門的力を身に付け、自分の研究をまとめることができる。	知的財産の実務に使える英語力を身に付ける。	これからの自分の人生設計を考慮するとともに国際性を身に付ける。	英語の基礎力を定着させ、知的財産に関する知識を総合的に整理する。	卒業に必要な単位数を取得する。		
履修科目		10単位	11単位	14単位	12単位	17単位	44単位	36単位	4単位	8単位	24単位	10単位	211単位		
年次		●必修科目												45単位	93単位
1 前期														41単位	89単位
1 後期														25単位	60単位
2 前期														41単位	89単位
2 後期														25単位	60単位
3 前期														45単位	93単位
3 後期														45単位	93単位
分野		導入領域	教養領域 英語科目	教養領域 一般科目	専門領域 基礎科目	専門領域 知的財産法科目	専門領域 基礎&専門科目	専門領域 探索科目	専門領域 研究科目	専門領域 実践英語科目	専門領域 国際科目	その他教養領域	年間履修上限単位数 44単位		
カリキュラムポリシー		<p>ディプロマ・サブメントシステムにおける学部および学位のディプロマ・ポリシー達成項目を明示</p> <p>1) 導入領域および教養領域、基礎領域、発展領域にわたる諸科目を通じて、知的財産に関わる専門職人に求められる幅広い教養と社会人基礎力を身に付ける。</p> <p>2) 専門領域の基礎科目と知的財産法科目および技術&専門科目を通じて、知的財産法を体系的に理解し、その機能を知的財産の創造、保護、活用のために応用する能力を身に付ける。</p> <p>3) 専門領域の探索科目、技術&専門科目、実践科目および研究科目を通じて、知的財産の創造、保護、活用および法用のために必要な技術、意匠、ブランド、コンテナツまたはビジネスに関する知識、ならびに知識を創発する能力を身に付ける。</p> <p>4) 専門領域の発展科目と研究科目を通じて、知的財産権実務において生起する課題を自ら発見し、その解決のための調査、検討を行う能力を身に付ける。</p> <p>5) 教養領域および発展領域の基礎英語科目、専門領域の国際法・比較法諸科目を通じて、知的財産実務で活用できる英語力と国際性を身に付ける。</p>													
アドミッションポリシー		<p>知的財産学即知的財産学は、知的財産の創造、保護、活用という知的財産創造サイクルの各段階において、大きな役割を果たすことができる総合的・専門的人材を養成します。このために知的財産に関する関心と意欲を強く持って真摯に学修に臨み、意欲的に自己を成長させる人材を広く求めます。</p> <p>(求める人物像)</p> <p>1) 知的財産に関する専門能力を有する専門家として卒業後の活躍をめざす人</p> <p>2) 知的財産に関する専門的知識・保護・活用への貢献ができる人材をめざす人</p> <p>3) 企業等において知的財産を理解する人材として幅広く活躍できることをめざす人</p>													

知財産学部の知財産学専攻の学生は、原則として年間1単位、授業および卒業研究を通じて、以下の能力を身に付ける。所定の単位を取得し、かつアセスメントテストおよび卒業研究に合格(2018年度以降入学生)した学生に対して、学上(知的財産学)の学位が授与される。なお、特に優秀な成績を修めた者は、3年間で卒業し、知的財産権専門大学院に早稲進出することができる。

【1】 人文・社会科学、自然科学を含む、知的財産の創造、保護および活用を行う上で必要となる幅広い教養を身に付ける。【基礎学力・教養】
【2】 知的財産法を体系的に理解しており、その理解を知的財産の創造、保護、活用のために応用することができる。【知的財産法の体系的理解力、法的思考力】
【3】 知的財産の創造、保護および活用のために必要な技術、意匠、ブランド、ソフトウェアまたはビジネスに関する知識、ならびに知的財産を経済社会で活用するための実践的能力を身に付ける。【技術、意匠、ブランド、ソフトウェア、ビジネスに関する理解と実践力】
【4】 知的財産関連実務で求められる課題を自ら発見でき、その解決のための調査、検討を行うことができる。【問題発見力】
【5】 知的財産のグローバルな創造、保護および活用を行うための、英語力と国際性を身に付ける。【国際性】

【 】はディプロマ・サブシステムにおける表示

分類別 到達目標	学びと学びの基本となる 能力を身に付ける。	グローバル社会で使える実 力を身に付ける。	知的財産の創造、保護、活用に必要な幅広い教養を身に 付ける。	知的財産法を学ぶ上で基礎となる基本的な法律の基礎の理解を深める。	知的財産業務の基本となる主要な知的 財産法の基礎の理解を深める。	ビジネスにおいて知的財産を活用するための基本的な知識や手法の理解を深め る。	知的財産に関与するために必要な知識の 理解を深める。	知的財産に関する専門的力量を培う。	知的財産の実務に使える英語力を身に 付ける。	これからの自分の人生設計を考えた上 にも国際性を身に付ける。	英語の基礎力を定着させ、知的財産に 関する知識を能動的に整理する。	卒業に必要な単位数 124単位
1	後期	前期	前期	前期	前期	前期	前期	前期	前期	前期	前期	15単位
2	後期	前期	前期	前期	前期	前期	前期	前期	前期	前期	前期	42単位
3	後期	前期	前期	前期	前期	前期	前期	前期	前期	前期	前期	87単位
4	後期	前期	前期	前期	前期	前期	前期	前期	前期	前期	前期	124単位

●卒業研究

10単位	11単位	12単位	13単位	14単位	15単位	16単位	17単位	18単位	19単位	20単位	21単位	22単位	23単位	24単位	25単位	26単位	27単位	28単位	29単位	30単位	31単位	32単位	33単位	34単位	35単位	36単位	37単位	38単位	39単位	40単位	41単位	42単位	43単位	44単位	45単位	46単位	47単位	48単位	49単位	50単位	51単位	52単位	53単位	54単位	55単位	56単位	57単位	58単位	59単位	60単位	61単位	62単位	63単位	64単位	65単位	66単位	67単位	68単位	69単位	70単位	71単位	72単位	73単位	74単位	75単位	76単位	77単位	78単位	79単位	80単位	81単位	82単位	83単位	84単位	85単位	86単位	87単位	88単位	89単位	90単位	91単位	92単位	93単位	94単位	95単位	96単位	97単位	98単位	99単位	100単位	101単位	102単位	103単位	104単位	105単位	106単位	107単位	108単位	109単位	110単位	111単位	112単位	113単位	114単位	115単位	116単位	117単位	118単位	119単位	120単位	121単位	122単位	123単位	124単位
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

ディプロマ・サブシステムにおける表示

年間履修上限単位数 44単位

ディプロマ・サブシステムにおける表示

(求める人物像)
【1】 知的財産に関する専門能力を有する専門家として業界での活躍をめざす人
【2】 知的財産に関する専門資格を有し、知的財産の創造・保護・活用への貢献ができる人材をめざす人
【3】 企業等において知的財産を理解する人材として幅広く活躍できることをめざす人

【 】はディプロマ・サブメントシステムにおける表示																										
分野別到達目標	学びと学びの基本となる能力を身に付ける。		グローバル社会で使える英語力を身に付ける。		知的財産の創造、保護、活用に必要な幅広い教養を身に付ける。		知的財産法を学ぶ上で基礎となる基本的な法律の基礎的理解を深める。		知的財産の基本となる主要な知的財産法の基礎的理解を深める。		ビジネスにおいて知的財産を活用するための基本的な知能や手法の理解を深める。		知的財産に携わるために必要な知識の理解を深める。		知的財産に関する専門的力を培う。		知的財産の実務に使える英語力を身に付ける。		これからの自分の人生設計を考えるとともに国際性を身に付ける。		英語の基礎力を定着させ、知的財産に関する知識を総合的に整理する。		卒業に必要な単位数 24単位			
6年制教育	10単位		11単位		31単位		42単位		19単位		43単位		39単位		49単位		49単位		54単位		59単位		212単位			
4	●卒業研究																									
3	後期																						45単位		47単位	
	前期																						42単位		43単位	
2	後期																						49単位		47単位	
	前期																						39単位		44単位	
1	後期																						25単位		44単位	
	前期																						35単位		44単位	
分野	導入領域		教養領域 英語科目		教養領域 教養科目		専門領域 基幹科目		専門領域 知的財産科目		専門領域 技術的専門科目		専門領域 課外科目		専門領域 研究科目		展開領域 実践英語科目		展開領域 展開科目		その他連携領域		年間履修し得る単位数 44単位			
ディプロマ・サブメントシステム	<p>知的財産学専攻の専攻学生は、原則として4年間在学し、授業および卒業研究を通じて、以下の能力を身に付ける。所定の単位を取得し、かつアセスメントおよび卒業研究に合格(2018年度以降入学者)した学生に対して、学(知的財産学)の学位が授与される。なお、特に優秀な成績を修めた者は、3年間で卒業し、知的財産専門大学院に早期進学することができる。</p> <p>【基礎学力、教養】 (1) 人文・社会科学、自然科学を含め、知的財産の創造、保護および活用を行う上で必要となる幅広い教養を身に付ける。 (2) 知的財産法を体系的に基盤として理解しており、その理解を知的財産の創造、保護、活用のために応用することができる。 (3) 知的財産の創造、保護および活用に必要な基礎知識、意匠、ブランド、コンタクトおよびビジネスに関する知識、ならびに知的財産を経済社会で活用するための実践的能力を身に付ける。 (4) 知的財産関連領域で発展する知識を自ら発見でき、その解決のための調査、検討を行うことができる。 (5) 知的財産のグローバルな創造、保護および活用を行うための、英語力と国際性を身に付ける。 【国際性】</p>																									
アドミッションポリシー	<p>(求める人物像) (1) 知的財産に関する専門能力を有する専門家として卒業までの活躍をめざす人 (2) 知的財産に関する専門資格を有し、知的財産の創造・保護・活用への貢献ができる人材をめざす人 (3) 企業等において知的財産を理解する人材として幅広く活躍できることをめざす人</p>																									

知財産学部の知財産学修士は、原則として中間在学中、授業および卒業研究を通じて、以下の能力を身に付ける。所定の単位を取得し、かつアシスタントおよび卒業研究に合格(2018年度以降入学者)した学生に対して、学士(知財産学)の学位が授与される。なお、特に優秀な成績を修めた者は、3年間で卒業し、知財産学専門大学院に早期進学することができる。

1) 人文・社会科学、自然科学を含め、知財産の創造、保護および活用を行う上で必要となる幅広い教養を身に付けている。【基礎学力、教養】

2) 知財産法を法体系に基づいて理解しており、その理解を知財産の創造、保護、活用のために応用することができる。【知財産法の体系的理解力、法的思考力】

3) 知財産の創造、保護および活用のために必要な技術、意匠、ブランド、コンテンツまたはビジネスに関する知識、ならびに知財産を創出社会で活用するための実践的能力を身に付けている。【技術、意匠、ブランド、コンテンツ、ビジネスに関する理解と実践力】

4) 知財産の関連実務で生じた課題を自ら発見でき、その解決のための調査、検討を行うことができる。【問題解決力】

5) 知財産のグローバルな創造、保護および活用を行うための、英語力と国際性を身に付けている。【国際性】

【 】はダイプロマ・サブマネジメントシステムにおける表示

分野別 到達目標	学位と学びの基本となる 能力を身に付ける。	グローバル社会で使える英 語力を身に付ける。	知財産の創造、保護、活用に必要な幅広い教養を身に 付ける。	知財産法を学上で基礎となる基本的な法律の基礎的理解を深める。	知財産実務の基本となる主要な知財 産法の基礎的理解を深める。	ビジネスにおいて知財産を活用するための基本的な知識や手法の理解を深め る。	知財産に資するために必要な知識の 理解を深める。	知財産に関する専門的力を培う。	知財産の実務に使える英語力を身に 付ける。	これからの自分的人生設計を考えると もに国際性を身に付ける。	英語の基礎力を定着させ、知財産に 関する知識を総合的に活用する。	卒業に必要な単位数 125単位
専修科目	10単位	11単位	34単位	42単位	18単位	42単位	39単位	4単位	9単位	24単位	19単位	252単位
1												
2												
3												
4												
5												
後期												95単位
前期												97単位
後期												99単位
前期												97単位
後期												98単位
前期												94単位
後期												99単位
前期												92単位
分野	導入領域	教養領域 英語科目	教養領域 一般科目	専門領域 基礎科目	専門領域 知的財産科目	専門領域 基礎専門科目	専門領域 探索科目	専門領域 研究科目	国際領域 英語科目	国際領域 研究科目	その他他探領域	年間履修上限単位数 44単位

ダイプロマポリシーに示した能力を有する人材を育成するために、下記方針に基づきカリキュラムを編成する。

1) 導入領域、教養領域、国際領域および専門領域における諸科目を通じて、知財産に関する専門能力に求められる幅広い教養と社会人基礎力を身に付ける。

2) 専門領域の基礎科目と知的財産法科目および技術系専門科目を通じて、知財産法を体系的に理解し、その理解を知財産の創造、保護、活用のために応用する能力を身に付ける。

3) 専門領域の探索科目、技術系専門科目、探索科目および研究科目を通じて、知財産の創造、保護および活用のために必要な技術、意匠、ブランド、コンテンツまたはビジネスに関する知識、ならびに知財産を創出社会で活用するための実践的能力を身に付ける。

4) 専門領域の探索科目と研究科目を通じて、知財産関連実務において生じた課題を自ら発見し、その解決のための調査、検討を行う能力を身に付ける。

5) 教養領域および国際領域の実践英語科目、専門領域の国際法・比較法関連科目を通じて、知財産実務で活用できる英語力と国際性を身に付ける。

知財産学部の知財産学修士は、知財産の創造・保護・活用という知的財産創造サイクルの各段階において、大きな役割を果たすことができる総合的・専門的人材を養成します。このために知財産に関する関心と意欲を強く持つ真摯に学修し、意欲的に自己成長させる人材を広く求めます。

(求める人物像)

(1) 知財産に関する専門能力を有する専門家として産業界での活躍をめざす人

(2) 知財産に関する専門資格を有し、知財産の創造・保護・活用への貢献ができる人材をめざす人

(3) 企業等において知財産を理解する人材として広く活躍できることをめざす人

ディプロマ ポリシー	知的財産学部の知的財産学修士は、原則として4年間制とし、授業および卒業研究を通じて、以下の能力を身に付ける。所定の単位を取得し、コアセラメントテストおよび卒業研究に合格(2018年度以降入学生)した学生に対して、学上(知的財産学)の学位が授けられる。なお、特に優秀な成績を挙げた者は、3年間で卒業し、知的財産専門職大学院に早期進学することができる。 1) 人文・社会科学、自然科学を含め、知的財産の創造、保護および活用を行う上で必要となる幅広い教養を身に付けている。【基礎学力、教養】 2) 知的財産法を体系的に基づいて理解しており、その理解を知的財産の創造、保護、活用に応用することができる。【知的財産法の体系的な理解力、法的思考力】 3) 知的財産の創造、保護および活用のための必要な技術、意匠、ブランド、コンテンツまたはビジネスに関する知識、ならびに知的財産を経済社会で活用するための実践的能力を身に付けている。【技術、意匠、ブランド、コンテンツ、ビジネスに関する理解と実践力】 4) 知的財産関連業務で生じる課題を自ら発見でき、その解決のための調査、検討を行うことができる。【問題解決力】 5) 知的財産のグローバルな創造、保護および活用を行うための、英語力と国際性を身に付けている。【国際性】												【】はディプロマ・サブメントシステムにおける表示											
分野別 目標項目	学びの学びの基本となる能力を身に付ける。	グローバル社会で使える英語力を身に付ける。	知的財産の創造、保護、活用に必要な幅広い教養を身に付ける。	知的財産法を学ぶよでの基礎となる基本的な法律の基礎の理解を深める。	知的財産業務の基本となる主要な知的財産法の理解を深める。	ビジネスにおいて知的財産を活用するための基本的な知識や手法の理解を深める。	知的財産に関わるために必要な知識の理解を深める。	知的財産に関する専門的力を養う。	知的財産の実務に使える英語力を身に付ける。	これからの自分の人生設計を考えるとともに国際性を身に付ける。	英語の基礎力を定着させ、知的財産に関する知識を総合的に整理する。	卒業に必要な単位数 234単位												
専攻領域別	10単位		10単位		34単位		42単位		33単位		42単位		40単位		40単位		50単位		100単位				234単位	
4 中期	●卒業研究																							
3 後期	企業法理論 2 知的財産情報 2 行政法 1 2 民法応用 1 2	企業法理論 2 知的財産情報 2 行政法 1 2 民法応用 1 2	公法学 2 民法 2 2 民法学 2 民法学 2	不正競争防止法 2 知的財産特許法 2 特許法・実用新案法 2 特許法・実用新案法 2	イノベーションと企業戦略 2 知財マネジメント 2 知財マネジメント 2 知財マネジメント 2	経営戦略論 2 コンテナック知財探索 2 特許法 2 知的財産特許法 2	国際知的財産法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2	研究基礎演習 4 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2	知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2	知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2	知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2	45単位												
2 後期	メデア英語 2 メデア英語 2 法英語基礎 2 資格英語 2	メデア英語 2 メデア英語 2 法英語基礎 2 資格英語 2	日本の文化と社会 2 生涯スポーツ 1 言語表現技術 2	知的財産特許法 2 行政法 1 2 民法学 2 民法学 2	知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2	イノベーションと企業戦略 2 知財マネジメント 2 知財マネジメント 2 知財マネジメント 2	国際知的財産法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2	研究基礎演習 4 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2	知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2	知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2	知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2	49単位												
1 後期	健康体育 2 言語表現技術 2 情報セキュリティ 2 英語表現 2 英語表現 2 基礎ゼクナール 2	健康体育 2 言語表現技術 2 情報セキュリティ 2 英語表現 2 英語表現 2 基礎ゼクナール 2	日本の文化と社会 2 生涯スポーツ 1 言語表現技術 2	知的財産特許法 2 行政法 1 2 民法学 2 民法学 2	知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2	イノベーションと企業戦略 2 知財マネジメント 2 知財マネジメント 2 知財マネジメント 2	国際知的財産法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2	研究基礎演習 4 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2	知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2	知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2	知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2	48単位												
1 前期	健康体育 2 言語表現技術 2 情報セキュリティ 2 英語表現 2 英語表現 2 基礎ゼクナール 2	健康体育 2 言語表現技術 2 情報セキュリティ 2 英語表現 2 英語表現 2 基礎ゼクナール 2	日本の文化と社会 2 生涯スポーツ 1 言語表現技術 2	知的財産特許法 2 行政法 1 2 民法学 2 民法学 2	知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2	イノベーションと企業戦略 2 知財マネジメント 2 知財マネジメント 2 知財マネジメント 2	国際知的財産法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2	研究基礎演習 4 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2	知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2	知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2	知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2	46単位												
1 前期	健康体育 2 言語表現技術 2 情報セキュリティ 2 英語表現 2 英語表現 2 基礎ゼクナール 2	健康体育 2 言語表現技術 2 情報セキュリティ 2 英語表現 2 英語表現 2 基礎ゼクナール 2	日本の文化と社会 2 生涯スポーツ 1 言語表現技術 2	知的財産特許法 2 行政法 1 2 民法学 2 民法学 2	知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2	イノベーションと企業戦略 2 知財マネジメント 2 知財マネジメント 2 知財マネジメント 2	国際知的財産法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2	研究基礎演習 4 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2	知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2	知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2	知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2	44単位												
1 前期	健康体育 2 言語表現技術 2 情報セキュリティ 2 英語表現 2 英語表現 2 基礎ゼクナール 2	健康体育 2 言語表現技術 2 情報セキュリティ 2 英語表現 2 英語表現 2 基礎ゼクナール 2	日本の文化と社会 2 生涯スポーツ 1 言語表現技術 2	知的財産特許法 2 行政法 1 2 民法学 2 民法学 2	知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2	イノベーションと企業戦略 2 知財マネジメント 2 知財マネジメント 2 知財マネジメント 2	国際知的財産法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2	研究基礎演習 4 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2	知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2	知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2	知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2 知的財産特許法 2	42単位												

ディプロマ ポリシー	アイプロマポリシーに示した能力を有する人材を育成するために、下記方針に基づきカリキュラムを編成する。 1) 専攻領域、専攻領域、基礎領域における科目を通じて、知的財産に関する専門職人に求められる幅広い教養と社会人基礎力を身に付ける。 2) 専門領域の基礎科目・知的財産法科目および技術・専門科目を通じて、知的財産の創造、保護、活用に関する知識、ならびに知的財産を経済社会で活用するための実践的能力を身に付ける。 3) 専門領域の基礎科目、技術・専門科目、探求科目および研究科目を通じて、知的財産の創造、保護、活用に関する知識、ならびに知的財産を経済社会で活用するための実践的能力を身に付ける。 4) 専門領域の探求科目と研究科目を通じて、知的財産関連業務において生じる課題を自ら発見し、その解決のための調査、検討を行う能力を身に付ける。 5) 専攻領域および基礎領域の実践英語科目、専門領域の国際法・比較法科目を通じて、知的財産実務で活用できる英語力と国際性を身に付ける。												年間履修上限単位数 44単位			
アドバンスト ポリシー	知的財産学部の知的財産学修士は、知的財産の創造、保護、活用という知的財産創造サイクルの各段階において、大きな役割を果たすことができる総合的・専門的人材を養成します。このために知的財産に関する関心と意欲を強く持つ真摯に学修に臨み、意欲的に自己成長させる人材を広く求めます。 (求める人物像) 1) 知的財産に関する専門能力を有する専門家として産業界での活躍をめざす人 2) 知的財産に関する専門資格を有し、知的財産の創造、保護、活用への貢献ができる人材をめざす人 3) 企業等において知的財産を管理する人材として幅広く活躍できることをめざす人															
分野	専攻領域 英語科目	教養領域 英語科目	教養領域 一般科目		専門領域 基礎科目		専門領域 知的財産法科目		専門領域 基礎・専門科目		専門領域 探求科目	専門領域 研究科目	基礎領域 実践英語科目	基礎領域 国際科目	その他教養領域	年間履修上限単位数 44単位

知的財産学専攻の知財専攻の学生は、原則として4年間在学し、授業および卒業研究を通じて、以下の能力を身に付ける。所定の単位を履修し、かつアセスメントおよび卒業研究に合格(2018年度以降入学生)した学生に対して、学士(知的財産学)の学位が授与される。なお、特に優秀な成績を修めた者は、3年間で卒業し、知的財産専門大学院に早期進学することができる。														
【 】はディプロマ・サブメントシステムにおける表示														
分野別 到達目標	学び方と学びの基本となる能力を身に付ける。	グローバル社会で使える英力を身に付ける。	知的財産の創造、保護、法用に必要幅広い教養を身に付ける。	知財専攻を学ぶ上で基礎となる基本的な法律の基礎の理解を深める。	知的財産教育の基本となる重要な知的財産法の基礎の理解を深める。	ビジネスにおいて知的財産を活用するための基本的な知識や手法の理解を深める。	知的財産に携わるために必要な知識の理解を深める。	知的財産に関する専門的力量を培う。	知的財産の活用による実用能力を身に付ける。	社会での自分の人生設計を考へるとともに国際性を身に付ける。	英語の基礎力を定着させ、知的財産に関する知識を総合的に習得する。	卒業に必要な単位数 124単位		
履修単位数	10単位	10単位	34単位	12単位	10単位	12単位	10単位	6単位	6単位	26単位	4単位	233単位		
1	後期											47単位	90単位	
2	前期											43単位		
3	後期											46単位	94単位	
4	前期											39単位		
5	後期											26単位	99単位	
6	前期											33単位		
分野	専攻領域	教養領域 英語科目	教養領域 教養科目	専門領域 基礎科目	専門領域 知財専攻科目	専門領域 知財専攻科目	専門領域 知財専攻科目	専門領域 知財専攻科目	専門領域 知財専攻科目	専門領域 知財専攻科目	専門領域 知財専攻科目	専門領域 知財専攻科目	専門領域 知財専攻科目	年間履修上限単位数 44単位
ディプロマ ポリシー	<p>知的財産学専攻の知財専攻の学生は、原則として4年間在学し、授業および卒業研究を通じて、以下の能力を身に付ける。所定の単位を履修し、かつアセスメントおよび卒業研究に合格(2018年度以降入学生)した学生に対して、学士(知的財産学)の学位が授与される。なお、特に優秀な成績を修めた者は、3年間で卒業し、知的財産専門大学院に早期進学することができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 人文・社会科学、自然科学を含む、知財専攻の創造、保護および活用を行う上で必要となる幅広い教養を身に付ける。【基礎力・教養】 2) 知財専攻を学ぶ上で必要となる重要な知的財産法の基礎の理解を深める。【知的財産法の基礎的知識、法的思考力】 3) 知財専攻の創造、保護および活用に必要な幅広い教養を身に付ける。【基礎的知識、法的思考力】 4) 知財専攻関連実務で生起する課題を自ら発見でき、その解決のための調査、検討を行うことができる。【問題解決力】 5) 知財専攻のグローバルな創造、保護および活用を行うための、英語力と国際性を身に付ける。【国際性】 													
ディプロマ ポリシー	<p>知的財産学専攻の知財専攻の学生は、原則として4年間在学し、授業および卒業研究を通じて、以下の能力を身に付ける。所定の単位を履修し、かつアセスメントおよび卒業研究に合格(2018年度以降入学生)した学生に対して、学士(知的財産学)の学位が授与される。なお、特に優秀な成績を修めた者は、3年間で卒業し、知的財産専門大学院に早期進学することができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 知財専攻に関する専門能力を身に付ける専門家として卒業生での活躍を促す。 2) 知財専攻に関する専門教育を有し、知財専攻の創造・保護・活用への貢献ができる人材を育成する。 3) 企業等において知的財産を管理する人材として幅広く活躍できることをめざす。 													

知的財産学専攻の財務学専攻の学生は、原則として4年間で学し、授業および卒業研究を通じて、以下の能力を身に付ける。所定の単位を取得した学生に対して、学上(知的財産学)の学位が授与される。なお、特に優秀な成績を修めた者は、3年間で卒業し、知的財産専門院大学院に早期進学することができる。													【 】はディプロマ・サブシステムにおける表示					
分野別 到達目標	12単位	12単位	12単位	12単位	12単位	12単位	12単位	12単位	12単位	12単位	12単位	12単位	12単位	12単位	12単位	12単位	12単位	12単位
ディプロマ ポリシー	<p>知的財産学専攻の財務学専攻の学生は、原則として4年間で学し、授業および卒業研究を通じて、以下の能力を身に付ける。所定の単位を取得した学生に対して、学上(知的財産学)の学位が授与される。なお、特に優秀な成績を修めた者は、3年間で卒業し、知的財産専門院大学院に早期進学することができる。</p> <p>(1) 人文・社会科学、自然科学を含め、知的財産の創造、保護および活用を行う上で必要となる幅広い教養を身に付ける。【基礎学力、教養】</p> <p>(2) 知的財産法の法体系に基づいて理解でき、その理解を知的財産の創造、保護、活用のために活用することができる。【知的財産法の体系的理解力、法的思考力】</p> <p>(3) 知的財産の創造、保護および活用のために必要な技術、意匠、ブランド、コンテンツまたはビジネスに関する知識。ならびに知的財産を経済社会で活用するための実践的能力を身に付ける。【技術、意匠、ブランド、コンテンツ、ビジネスに関する理解と実践力】</p> <p>(4) 知的財産関連実務で生起する課題を自ら発見でき、その解決のための調査、検討を行うことができる。【問題解決力】</p> <p>(5) 知的財産のグローバルな創造、保護および活用を行うための、英語力と国際性を身に付ける。【国際性】</p>																	
1	健康体育Ⅰ 情報リテラシー 言語表現Ⅰ	基礎ゼミナール 受信英語Ⅰ 発信英語Ⅰ	日本語Ⅰ 社会学	経済学入門 産業社会と知的財産	憲法Ⅰ	特許法・実用新案法Ⅰ 知的財産法入門	大衆技術学 現代技術と産業	基礎ゼミナール 健康体育Ⅰ 情報リテラシー 言語表現Ⅰ	基礎ゼミナール 健康体育Ⅰ 情報リテラシー 言語表現Ⅰ	基礎ゼミナール 健康体育Ⅰ 情報リテラシー 言語表現Ⅰ	基礎ゼミナール 健康体育Ⅰ 情報リテラシー 言語表現Ⅰ	基礎ゼミナール 健康体育Ⅰ 情報リテラシー 言語表現Ⅰ	基礎ゼミナール 健康体育Ⅰ 情報リテラシー 言語表現Ⅰ	基礎ゼミナール 健康体育Ⅰ 情報リテラシー 言語表現Ⅰ	基礎ゼミナール 健康体育Ⅰ 情報リテラシー 言語表現Ⅰ	基礎ゼミナール 健康体育Ⅰ 情報リテラシー 言語表現Ⅰ	基礎ゼミナール 健康体育Ⅰ 情報リテラシー 言語表現Ⅰ	基礎ゼミナール 健康体育Ⅰ 情報リテラシー 言語表現Ⅰ
2	健康体育Ⅱ 言語表現Ⅱ 基礎ゼミナール	メディア英語Ⅱ 法学英語基礎Ⅱ 情報英語Ⅱ 受信英語Ⅱ 発信英語Ⅱ	日本の文化と社会Ⅱ 生活スポーツⅡ 生物科学 化学	民法基礎Ⅱ 憲法Ⅱ	特許法・実用新案法Ⅱ 知的財産法入門	現代機械技術論 ベンチャービジネス論 イノベーション・論議	基礎ゼミナール 健康体育Ⅱ 言語表現Ⅱ 基礎ゼミナール	基礎ゼミナール 健康体育Ⅱ 言語表現Ⅱ 基礎ゼミナール	基礎ゼミナール 健康体育Ⅱ 言語表現Ⅱ 基礎ゼミナール	基礎ゼミナール 健康体育Ⅱ 言語表現Ⅱ 基礎ゼミナール	基礎ゼミナール 健康体育Ⅱ 言語表現Ⅱ 基礎ゼミナール	基礎ゼミナール 健康体育Ⅱ 言語表現Ⅱ 基礎ゼミナール	基礎ゼミナール 健康体育Ⅱ 言語表現Ⅱ 基礎ゼミナール	基礎ゼミナール 健康体育Ⅱ 言語表現Ⅱ 基礎ゼミナール	基礎ゼミナール 健康体育Ⅱ 言語表現Ⅱ 基礎ゼミナール	基礎ゼミナール 健康体育Ⅱ 言語表現Ⅱ 基礎ゼミナール	基礎ゼミナール 健康体育Ⅱ 言語表現Ⅱ 基礎ゼミナール	基礎ゼミナール 健康体育Ⅱ 言語表現Ⅱ 基礎ゼミナール
3	健康体育Ⅲ 言語表現Ⅲ 基礎ゼミナール	メディア英語Ⅲ 法学英語基礎Ⅲ 情報英語Ⅲ 受信英語Ⅲ 発信英語Ⅲ	日本の文化と社会Ⅲ 生活スポーツⅢ 生物科学 化学	民法基礎Ⅲ 憲法Ⅲ	特許法・実用新案法Ⅲ 知的財産法入門	現代機械技術論 ベンチャービジネス論 イノベーション・論議	基礎ゼミナール 健康体育Ⅲ 言語表現Ⅲ 基礎ゼミナール	基礎ゼミナール 健康体育Ⅲ 言語表現Ⅲ 基礎ゼミナール	基礎ゼミナール 健康体育Ⅲ 言語表現Ⅲ 基礎ゼミナール	基礎ゼミナール 健康体育Ⅲ 言語表現Ⅲ 基礎ゼミナール	基礎ゼミナール 健康体育Ⅲ 言語表現Ⅲ 基礎ゼミナール	基礎ゼミナール 健康体育Ⅲ 言語表現Ⅲ 基礎ゼミナール	基礎ゼミナール 健康体育Ⅲ 言語表現Ⅲ 基礎ゼミナール	基礎ゼミナール 健康体育Ⅲ 言語表現Ⅲ 基礎ゼミナール	基礎ゼミナール 健康体育Ⅲ 言語表現Ⅲ 基礎ゼミナール	基礎ゼミナール 健康体育Ⅲ 言語表現Ⅲ 基礎ゼミナール	基礎ゼミナール 健康体育Ⅲ 言語表現Ⅲ 基礎ゼミナール	基礎ゼミナール 健康体育Ⅲ 言語表現Ⅲ 基礎ゼミナール
4	健康体育Ⅳ 言語表現Ⅳ 基礎ゼミナール	メディア英語Ⅳ 法学英語基礎Ⅳ 情報英語Ⅳ 受信英語Ⅳ 発信英語Ⅳ	日本の文化と社会Ⅳ 生活スポーツⅣ 生物科学 化学	民法基礎Ⅳ 憲法Ⅳ	特許法・実用新案法Ⅳ 知的財産法入門	現代機械技術論 ベンチャービジネス論 イノベーション・論議	基礎ゼミナール 健康体育Ⅳ 言語表現Ⅳ 基礎ゼミナール	基礎ゼミナール 健康体育Ⅳ 言語表現Ⅳ 基礎ゼミナール	基礎ゼミナール 健康体育Ⅳ 言語表現Ⅳ 基礎ゼミナール	基礎ゼミナール 健康体育Ⅳ 言語表現Ⅳ 基礎ゼミナール	基礎ゼミナール 健康体育Ⅳ 言語表現Ⅳ 基礎ゼミナール	基礎ゼミナール 健康体育Ⅳ 言語表現Ⅳ 基礎ゼミナール	基礎ゼミナール 健康体育Ⅳ 言語表現Ⅳ 基礎ゼミナール	基礎ゼミナール 健康体育Ⅳ 言語表現Ⅳ 基礎ゼミナール	基礎ゼミナール 健康体育Ⅳ 言語表現Ⅳ 基礎ゼミナール	基礎ゼミナール 健康体育Ⅳ 言語表現Ⅳ 基礎ゼミナール	基礎ゼミナール 健康体育Ⅳ 言語表現Ⅳ 基礎ゼミナール	基礎ゼミナール 健康体育Ⅳ 言語表現Ⅳ 基礎ゼミナール